

道徳便り

鹿島小学校 No.5

令和4年12月9日

11月17日に、2年2組での研究授業が行われました。授業の様子をお知らせします。

○教材名「ぐみの木と小鳥」 ○価値項目「親切、思いやり」

○授業の概略

ぐみの木は、この頃姿を見せないりすを心配する。小鳥はりすの様子を見に行く。小鳥は、りすが病気であることを知ると、嵐の日でさえもぐみの実を届けに行く。りすは、小鳥が嵐の中飛んでくるのを心配そうに見つめる。ぐみの木、小鳥、りすの三者が互いを思いやる心と、三者それぞれの立場でできることを具体的に実行した行為が描かれていることで、心と行動の関係を整理しながら、親切にする意義について考えさせていく授業です。そして、困っている人を思いやり、相手のことを考えて、親切にしようとする心情を育てる授業です。

○授業を振り返って

「今日、みんなと考えたいテーマは親切です。ペアで話し合きましょう。」という教師の言葉かけから始まりました。子どもたちは、親切という言葉から思いつく言葉を書いていた。「親切ってどんなこと？必ずやらなくてはいけないこと？親切にしたい？親切にされたい？」などの教師からの発問に、子どもたちは答えるなかで、「親切にするってどういうことなのかな。」という問いをもち、授業が始まりました。



今回は、電子黒板でお話を聞き、その後、役割演技をして登場人物の気持ちを考える活動をしました。次に、力をふりしぼって飛び続ける小鳥の思いをハート型をしたカードに書きました。どのお子さんも小鳥の葛藤する気持ちを絵や色で表すことができました。その後、友達とカードを見せ合う活動をすることで、いろいろな考えに気付くこともできました。

後半は、「ぐみの木とことり」から離れて、親切について分かったことをワークシートに書き足したり、これから自分がしたいことを書いたりしました。

～授業のふりかえり～

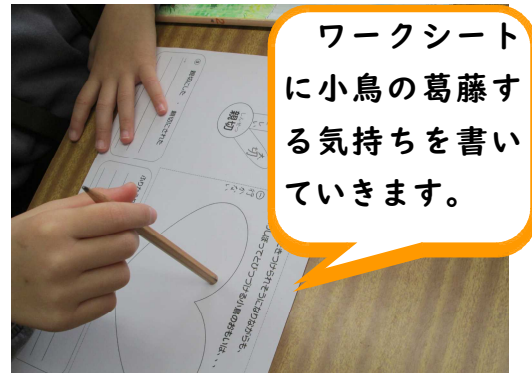
- ・ これからも物を忘れてしまった人に貸してあげたいと思いました。
- ・ これからは、もっと友達を助けたいです。
- ・ 親切にすることはいいこと。これからはみんなに親切にしたい。

以上のような感想があり、今後、誰に対しても親切にしようとする心情が高まっていたようです。

今後も、他教科と関連させながら指導を続けていきます。



ペーパーサートを使って登場人物の気持ちを考えることができました。



ワークシートに小鳥の葛藤する気持ちを書いています。



これまでの道徳授業の歩みを掲示しています。

